

TOTO

洗面化粧台

LDRA075・090・100・120型

製品の機能が十分に発揮されるように、この説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取付後は、お客様にご使用方法を十分に説明してください。

1) 安全上の注意

- 取付前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
 - この説明書では、商品を安全に正しく取り付けていただくために、必ずお守りいただくことを、お知らせしています。
- 使用者や他の人々への危害や物的損害を未然に防止するために、必ずお守りください。

表示	意味
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	⊘は、してはいけない「禁止」内容です。		●は、必ず実行していただく「強制」内容です。
---	---------------------	---	------------------------

- 取扱説明書は、お客様にお渡しする大切な書類です。紛失や汚れが生じないように大切に保管し、取付工事完了後、引き渡し時にお客様にお渡しください。

 警告	
水道・電気工事は、関連する法令・規定に従って必ず、「有資格・指定業者」が行う	浴室など湿気の多い場所へ設置しない
 必ず実行 火災や感電および水漏れの原因になります。	 禁止 漏電により感電するおそれがあります。

 警告		
電源はAC100Vを使用する AC100V以外を使用すると過電流による火災の原因になります。	壁固定用ねじ取付位置に木さんを入れて補強する キャビネットが転倒しケガをするおそれがあります。	アース工事を行う（D種接地工事） 漏電により感電するおそれがあります。
 必ず実行	 必ず実行	 必ず実行

 注意	
湯・水を逆に配管しない 水側でいきなり湯が出て、やけどをするおそれがあります。	凍結のおそれがある地域では、必ず凍結防止工事を行う
 禁止	 必ず実行
取付完了後、給排水管から水漏れがないかを必ず確認する	取付完了後、キャビネットの固定・扉の傾き・がたつき・丁番のゆるみがないかを必ず確認する
 必ず実行	 必ず実行

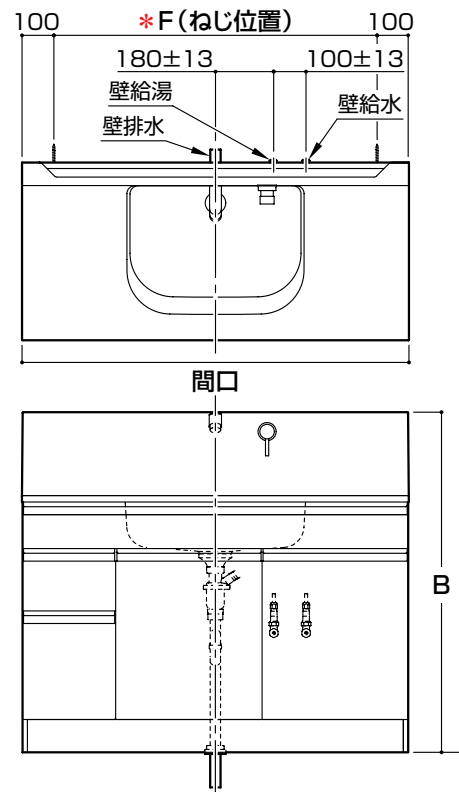
2) 設置寸法

- 特殊品の場合の設置寸法は、承認図を確認してください。
- 壁排水の場合は、壁排水トラップは付属していませんのでL0133をご購入ください。

1-1 洗面化粧台（一般タイプ）

【壁給水の場合】

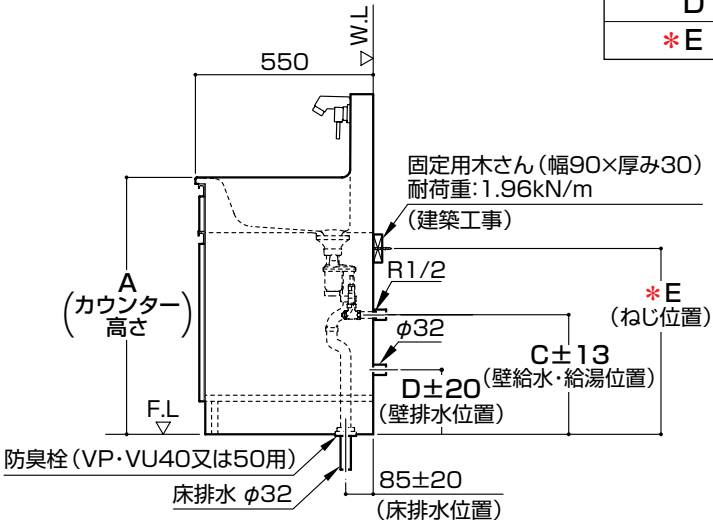
※本図はLDRA090AFタイプを示します。その他の機種は外観形状が若干異なります。



*印の寸法は、木ねじ位置を示します。

間口	750	900	1000	1200
*F	550	700	800	1000

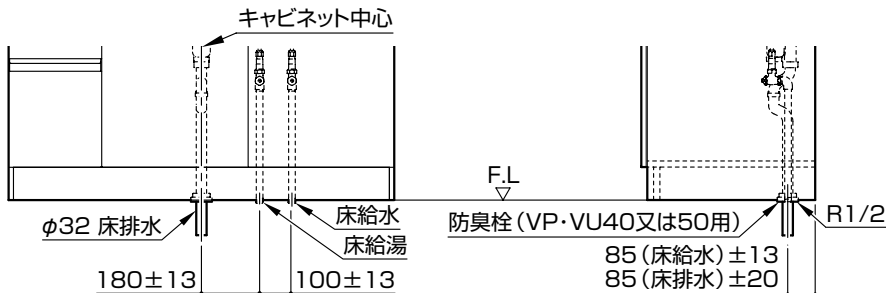
(カウンター高さ)		
A	750	800
B	1010	1060
C	370	420
D	185	235
*E	530	580



【床給水・配管王の場合】

- 配管王をご使用の場合は、TSAS4BJKXAをご購入ください。
(配管王の場合は化粧台に同梱の止水栓は使用しません。)

※ 配管王とは、TOTOの樹脂配管システムです。



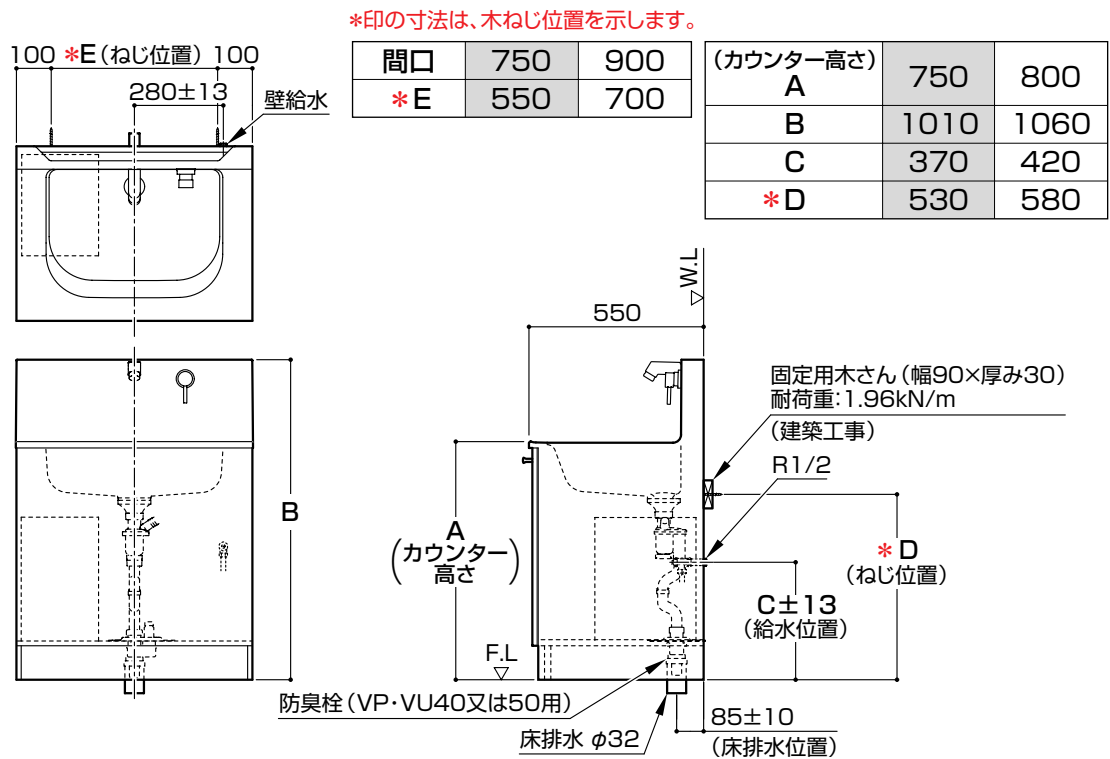
1-2 付属部品明細

	名 称	数 量
1	止水栓 壁用	2個
	床用	2個
2	排水パイプ	1セット
3	給水ふた	2個
4	排水ふた	1個
5	防臭栓	1個
6	ふた固定用ねじ(φ3×12)	7本
7	壁固定用ねじ(φ5.2×55)	2本
8	取扱説明書(保証書付)	1冊
9	ホースカバー	1個
10	水栓	1個

2-1 洗面化粧台（電気温水器付）

【壁給水の場合】

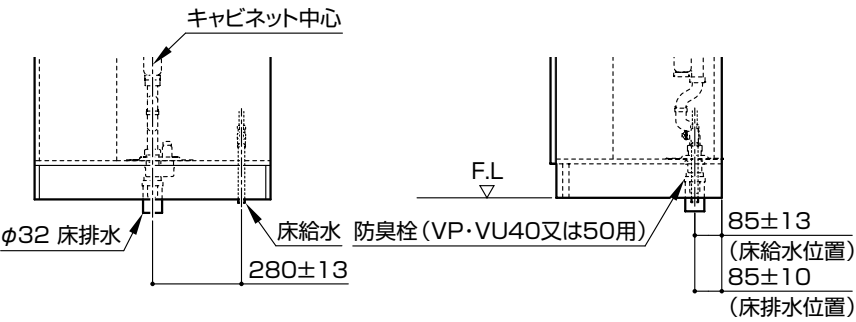
※本図はLDSRA075AAHSタイプを示します。その他の機種は外観形状が若干異なります。



【床給水・配管王の場合】

- 配管王をご使用の場合は、TSAS4BJKXAをご購入ください。
(配管王の場合は化粧台に同梱の止水栓は使用しません。)

※配管王とは、TOTOの樹脂配管システムです。



2-2 付属部品明細

名 称			数 量	名 称			数 量
1	止水栓	壁用	1個	4	ふた用木ねじ (φ3×12)	2本	2本
	止水栓	床用		5	壁固定用木ねじ (φ5.2×55)	2本	2本
2	排水パイプ		1セット	6	取扱説明書 (保証書付)	1冊	1冊
3	給水ふた		1個	7	ホースカバー	1個	1個
				8	水栓	1個	1個

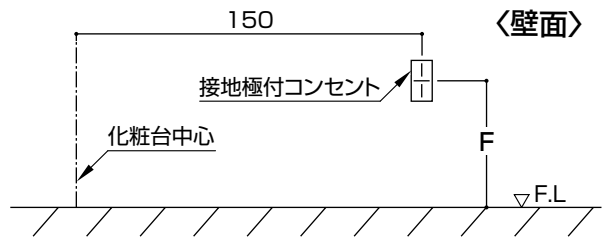
※電気温水器は別梱包です。

あらかじめ必要な電気工事

※必ず電気工事店にて工事してください。

- ①電源は、AC100V (50/60Hz)、温水器消費電力505Wに適した配線を設けてください。
- ②総消費電力が2000Wを超える場合は別配線を設けてください。
- ③漏電による感電防止のため、アース工事を行ってください。(D種接地工事)
 - 接地用端子の付いた接地極付コンセントを下図の位置に取り付けてください。

カウンター高さ	F
750	400
800	450



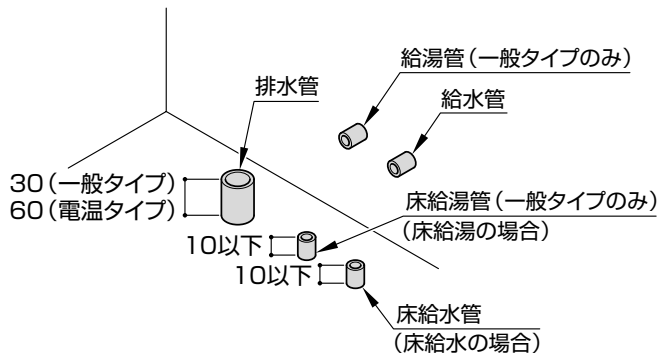
3 使用条件

- 水栓金具の使用条件は水栓金具に付属の施工説明書をご参照ください。

4 取付前の準備（建築工事）

- キャビネットの壁固定部分には、設置壁の裏面に固定用木さんを入れてください。
(固定用木さんが取り付けられない場合は、設置壁の前面に厚み12mm以上のJAS規格品の合板を強固に取り付けてください。)
- 給水管を所定の位置に取り出してください。
- 器具を取り付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。
- 排水管を所定の位置に仕上げ面より下記要領で立上げてください。
- 排水管を所定の位置に取り出してください。
(排水管はVU40・VU50または、VP40・VP50をご使用ください。)
- 給水管の位置に合わせて化粧台に給水穴(φ52)を穴あけしてください。

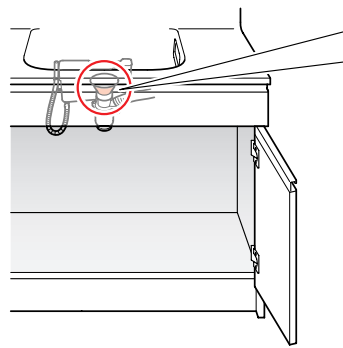
※排水管と仕上げ面の取り出し穴にすきまがある場合は、メジシールでシールしてください。



5 取付手順（番号順に取り付けてください。）

※体重計収納を洗面化粧台にセットする場合は、最初に洗面化粧台を加工してください。
取付要領は体重計収納の組立・設置説明書をご参照ください。

※下図に示すねじは絶対に触らないでください。



本図のねじは工場組立て締め付けを管理しています。絶対に触らないでください。ねじがゆるむと水漏れのおそれがあります。※ねじが無いタイプもあります。

排水トラップ固定用ねじは触らないでください。

※キャビネットの扉・引き出しはあらかじめ外しておいてください。引き出しの外し方は側面に貼ってあるラベルを参照願います。
取付工事が終わりましたら元に戻してください。

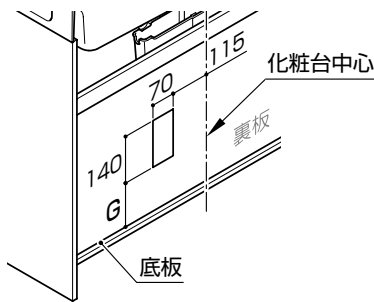
1 給・排水穴の穴あけ

- 給水・排水の位置に合わせて化粧台に給水、給湯穴(φ52×2)、排水穴(φ90)を穴あけしてください。

2 裏板の切り欠き（電気温水器付のみ）

- 壁付のコンセントの位置を確認した後、コンセントと裏板の切り欠きがあうように下図の寸法で裏板を切り欠いてください。

カウンター高さ	G
750	211
800	261



3 水栓の取り付け

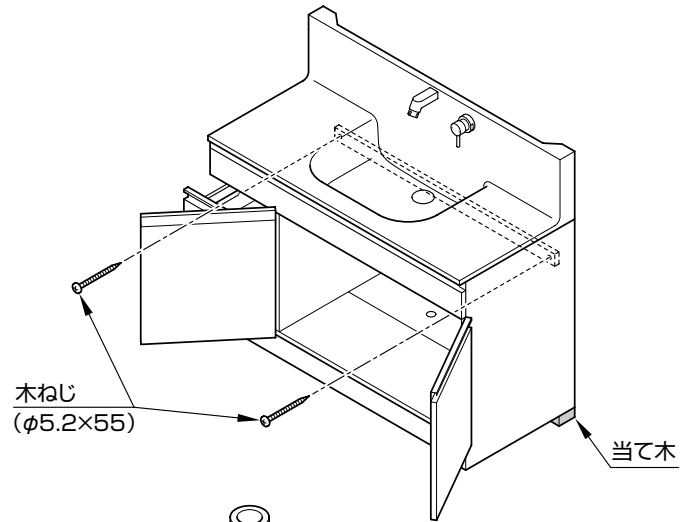
- ※水栓の取り付けは、化粧台を壁固定する前に行ってください。
- 取り付けについては、水栓金具の施工説明書をご参照ください。

裏面に続く ➡

5) 取付手順 (つづき)

4化粧台の取り付け

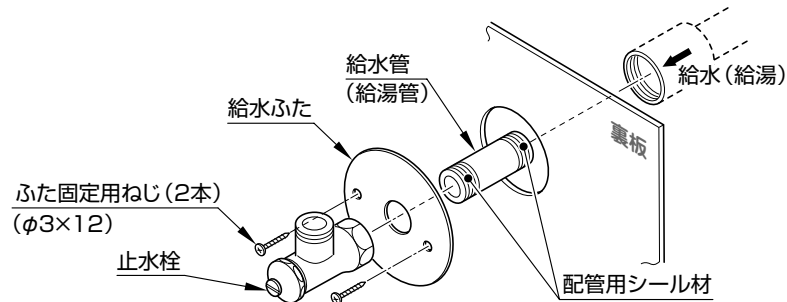
- 付属の木ねじ (2本) で壁に固定してください。
※床が水平でない場合には扉に段差ができるおそれがありますので、丁番を調整して段差をなくしてください。(調整要領は扉裏面に貼り付けのラベルをご参照ください。)
それでも良くならない場合は当て木をして水平になるように調節してください。
- タイル・コンクリート壁の場合、現物に合わせて壁固定用ねじ位置に下穴をあけ、壁固定用ねじにあったプラグ (引抜き強度: 1,000N以上 / 本) を打ち込んでおいてください。
(プラグ用の下穴は必ずご使用プラグ指定のドリル径であけてください。)



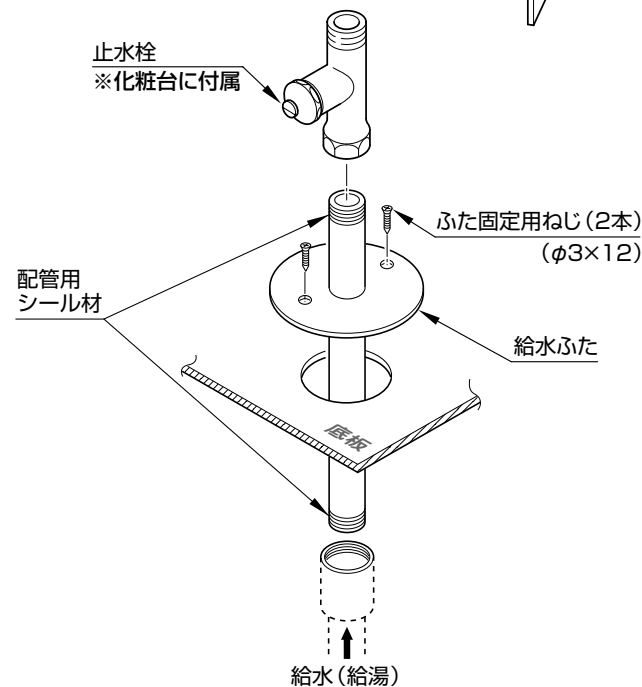
5 止水栓の取り付け

- 止水栓は工具で確実に締め付けてください。
- 配管王対応はTSAS4BJKXAに付属の施工説明書をご参照ください。

【壁給水の場合】



【床給水の場合】



6 水栓金具の給水・給湯接続

- 給水・給湯の接続は、水栓金具に付属の施工説明書にしたがい接続してください。

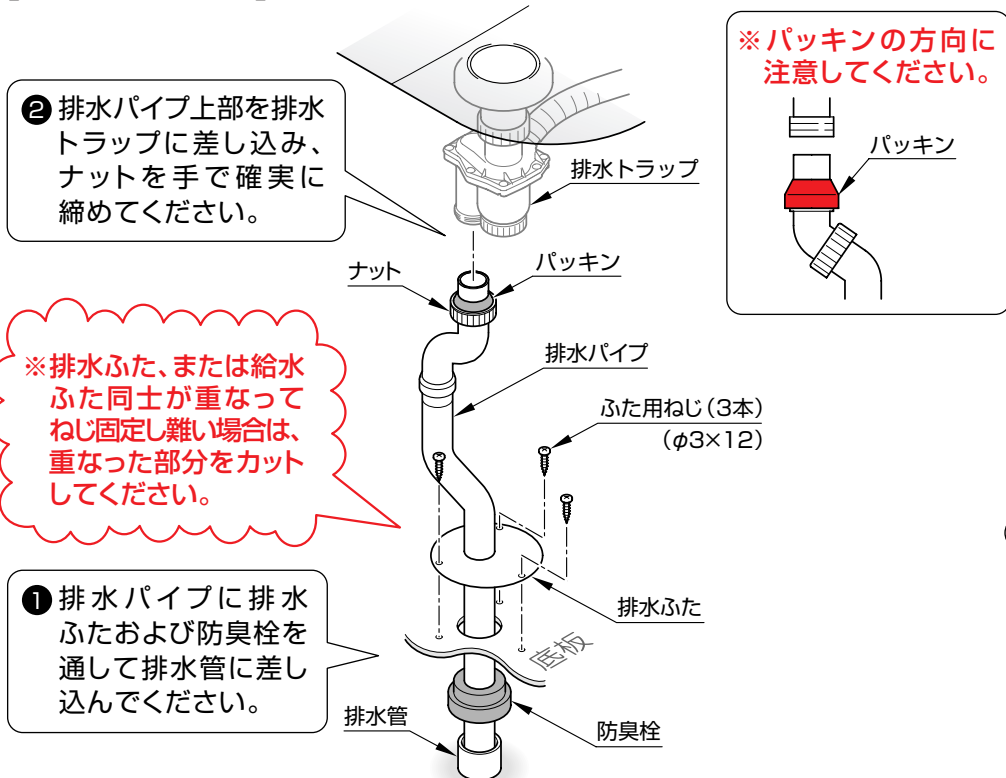
7 電気温水器の取り付け (電気温水器付のみ)

- 取り付けについては、電気温水器の施工説明書をご参照ください。

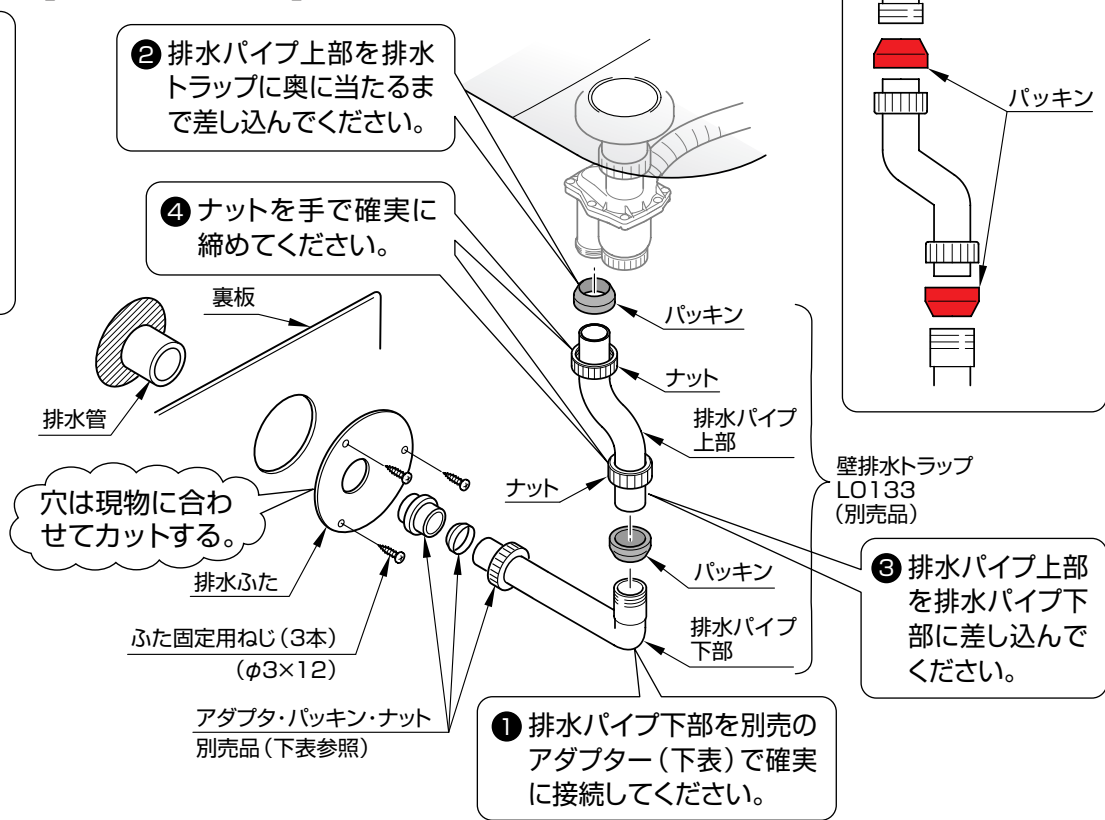
8 排水パイプの取り付け

- ナットは手で確実に締め付けてください。(工具は使用しないでください。)
- 集合住宅・高層住宅の場合、排水管と排水パイプの別売のアダプター (下表) で確実に接合してください。

【床排水の場合】



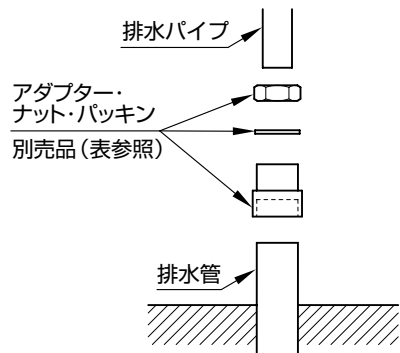
【壁排水の場合】



アダプター接続の場合

アダプターの種類	サイズ
T1122 (鋼管用)	R1 1/4
T1122J (塩ビ管用)	30用
L048 (塩ビ管用)	40用
L049 (塩ビ管用)	50用

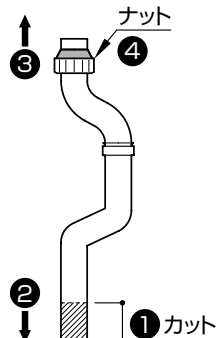
※T1122Jは排水パイプの
カットが必要です。



＜T1122J使用時の取り付け手順＞

- 1 排水パイプをカットしてください。(右図参照)
- 2 カット側をアダプターに差し込んでください。
- 3 排水パイプ上部を排水トラップに差し込んでください。
- 4 ナットを手で確実に締め付けてください。

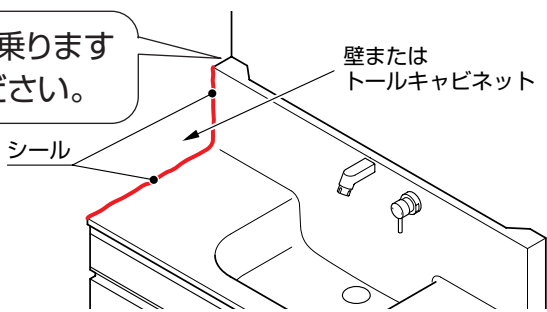
カウンター高さ	750の場合	800の場合
カット寸法	196	146



壁やトールキャビネットとの処理方法

- カウンターと壁の突き合わせ部をメジシール(YG902S)にてシールしてください。

この部分は上に製品が乗りますのでシールしないでください。



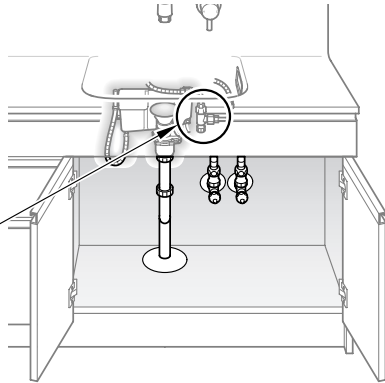
寒冷地タイプの水抜き

- 寒冷地タイプの場合は器具内の水を抜くため、水抜きコックを設けております。
凍結のおそれのある時期に施工された場合は、別途設備された水抜栓の操作とあわせて、次の要領で水抜きをしておいてください。
また、お客様にも水抜方法をご指導ください。

【水栓の水抜き】

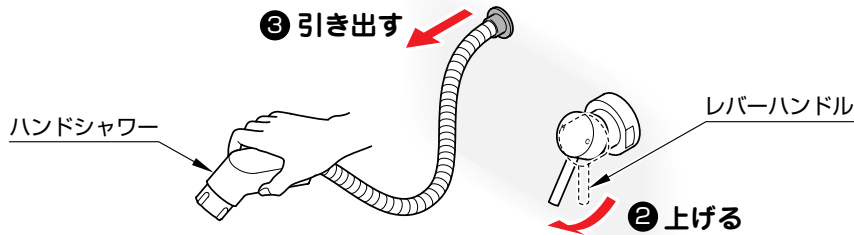
あらかじめ洗面化粧台の内部から引き出しや収納物を取り出してください。

水抜きコック

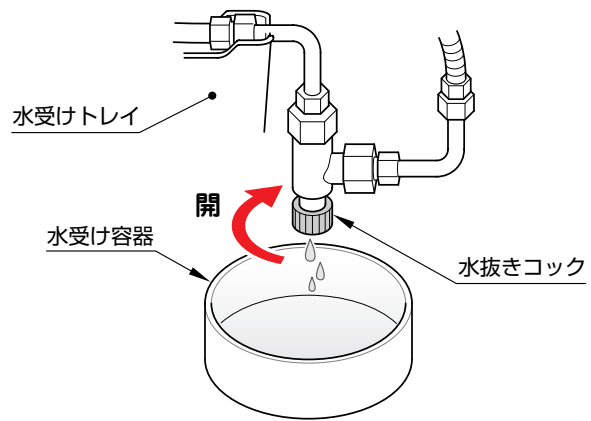


＜次の手順に従って水抜きを行ってください。＞

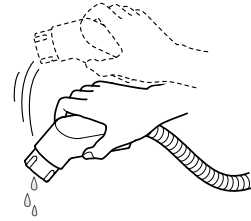
- ① 配管部の水抜きコックなどにより通水を止めて、水抜きを行ってください。
- ② レバーハンドルを中央位置で上げてください。
- ③ ハンドシャワーを引き出してください。



- ④ 水抜きコックの下に水受け容器（洗面器など）を用意し、水抜きコックを開けてください。



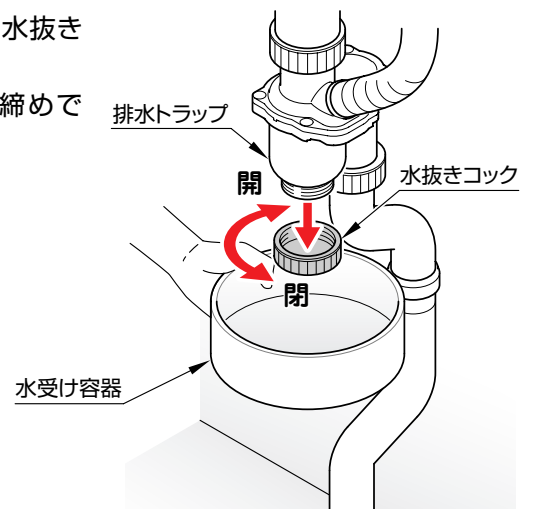
- ⑤ ハンドシャワーをよく振って水を切ってから洗面ボウルの底に置いてください。



※水抜き完了後は必ず水抜きコックを確実に閉めてください。

【排水トラップの水抜き】

- ① 水受けの容器を置き、排水トラップの水抜きコックを開けてください。
- ② 水抜き後は、必ず水抜きコックを手締めで確実に閉じてください。
(工具は使用しないでください。)

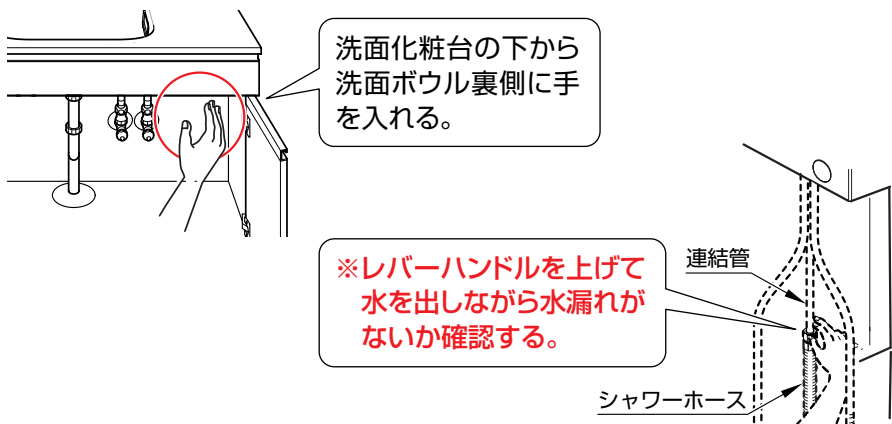


取付完了後の確認と清掃

- キャビネットが壁に確実に固定されていることを確認してください。
- 扉・引き出しの傾き・がたつきなど丁番のゆるみがないことを確認してください。
調整要領は扉裏面に貼り付けのラベルを参照ください。

重要 水漏れ確認

- 通水し、配管接続部に水漏れがないことを確認してください。



- 製品についた汚れ（プラスチック部品の静電気による黒い汚れを含む）は、ぬれた布をかたくしぼってふき取ってください。
その後、水を湿らせた布に少量の中性洗剤をつけてふき上げ、最後にからぶきしてください。
シンナー・ベンジンなどの使用は表面を変色・変質させますので、絶対に使用しないでください。
- 直射日光にさらされる場合は必ずカーテンなどでさえぎってください。